

# 小学校外国語活動・外国語科において、進んでコミュニケーション活動に取り組み、伝える喜びを実感できる児童の育成 —遠隔交流学习パッケージの作成と活用を通して—

## —研究構想図—

長期研修員 北爪 秀明

児童の実態	国・県の課題・方針	教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で楽しくやり取りや発表をしたい。</li> <li>クラスの友達だけではなく、いろいろな人たちと英語で話してみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進したい。</li> <li>言語活動や交流活動におけるICT活用の頻度が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が伝わった喜びを実感できる授業づくりをしたい。</li> <li>遠隔地との交流を図りたいが、どのように進めればよいのかわからない。</li> </ul>

## 遠隔交流学习パッケージ

### 活動の設定

- 各活動で使用する基本語彙や基本表現を示した。

活動：中学校生活についての思いを伝えよう!

基本語彙：学校行事、部活動、動作など

基本表現：I want to join (the volleyball team).

I want to enjoy (sports day).

I'm good at (running).

I want to be (a volleyball player).

### 交流相手の選定

- 交流相手を選定する際のよさや留意点を記載した。

交流相手とその特徴 (○:よさ ▲:留意点)

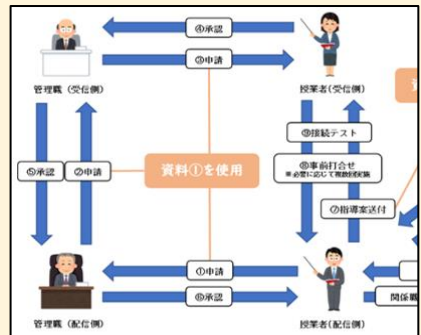
ALT 連絡系統図②へ

- 英語を使う必然性のある目的・場面・状況を創出することができる。
- 授業を通じて普段から児童と関わっているため、児童が理解できる英語を使ったり、児童に安心感を与えるような態度で聞いてくれたり教育的配慮ができる。

▲ALTは教育委員会に在籍しているため、所属の教育委員会や学校に事前に許可を取る必要がある。

### 申請方法

- 交流相手ごとに、申請の流れを示した。



### 単元計画、活動アイデア

### 外国語教育におけるICT活用の利点

時間	ねらい ○主な学習活動	(例) 5年生 留学生との交流	☆ICT活用例	言語活動・練習	交流・遠隔授業	コンテンツ・授業運営
1	●単元の課題を把握し、単元の課題を解決するための見通しをもたせる。 ○教師の実演により、単元の課題を把握する。 ○試しの活動に取り組み、単元の課題解決のために何を学ぶ必要があるのかを把握する。	☆単元の課題提示 ☆新出語彙や基本表現の確認と復唱 ☆振り返りの共有				★単元の課題提示 
2	●日本の四季や文化についてのおおよその内容を理解する。 ○日本の四季や文化を伝える表現に慣れ親しむ。	☆歌・チャンツ ☆新出語彙や基本表現の復唱	★個別の発音練習 	★遠隔地の外部人材による授業	★新出語彙の確認や練習 	
3	●日本の遊びや年中行事に関する語句について理解することができる。 ○日本の遊びや年中行事に関する語句について理解する。	☆新出語彙や基本表現の発音練習 ☆発表用資料作成 ☆発表練習の録画とフィードバック ☆振り返りの共有	★発表の録音や録画 	★リモート授業 	★歌、チャンツ 	
4	●好きな季節とその理由について尋ねたり答えたりすることができる。 ○好きな季節とその理由を尋ね合う。		★資料作成 			
5	●元日にすることについて尋ねたり答えたりすることができる。 ○元日について尋ね合う。					
6	●相手に配慮して、日本の四季や文化について紹介することができる。 ○内容や順番などを工夫しながら、日本の四季や文化について紹介する。					
7	【遠隔交流学习】 ●日本のよさが伝わるように、自分の考えや気持ちを含めて日本の四季や文化について紹介することができる。 ○Web会議システムを使って、日本の遊びや年中行事などを紹介する。	☆遠隔交流 ☆振り返りの共有	★やり取りや発表 ★言語活動の振り返り 	★遠隔交流学习 		

遠隔交流学习に向けた準備

つかむ

追究する

まとめる

# 遠隔交流学習パッケージの活用

4年生

6年生



「欲しいものや数をたずね合う活動を設定しよう」

「オリジナルフードを紹介する活動を設定しよう」

活動の設定

「英語を使う必然性をもたせたいので、ALTを交流相手とし、自分の考えを伝え合う楽しさを実感させたい」

「同じ中学校に進学する●●小学校との交流を通して、友好を深めさせたい」

交流相手の選定

「教育委員会やALT勤務校への連絡が必要だ」

「相手校の管理職に許可を取る必要がある。許可が下りたら、事前の打合せや接続テストが必要だ」

申請

遠隔交流学習に向けた準備

つかむ

追究する

まとめる

## <外国語教育におけるICT活用>

### 単元の課題提示



ALTの先生に喜んでもらえるパフェやピザを作って紹介したいな!



同じ中学校に進学する●●小学校の6年生はどんな食べ物が好きなのかな?早く知りたいな。

### 新出表現の個別練習と友達とのやり取り



基本表現の音声を繰り返し聞いて、たくさん発話練習ができた!

言い方が分からない時は、端末でいつでも確認できるね!



What do you want?

I want melons, please.

苦手な表現を何度も練習したので、すら すら言えるようになった!

はじめは言えなかった表現も言えるようになった!もっといろいろなことが伝えられるようになりたい!



How many?

Two, please.



### 資料作成



ALTの先生が「食べたい!」と思えるパフェができたわ!

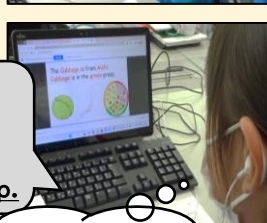
This is my original ramen. Egg, seaweed and cabbage are in my ramen.

食材の産地など、もう少し詳しい情報を伝えたいな。



This is my original parfait. I have bananas, apples and strawberries. Do you like my parfait?

This is my original ramen. Egg, seaweed and cabbage are in my ramen. The cabbage is from Gunma. Cabbage is in the green group.



わたしの英語が伝わった! ALTの先生と、もっといろいろなことを話してみたい!

オリジナルフードについて詳しく伝えることができたし、友達のことを知れた!

成果

遠隔交流学習では、伝え合う必要感が生まれ、児童が進んでコミュニケーション活動に取り組み、自分の気持ちや考えを伝える喜びを実感させることができた。

課題

対面で交流するよりも相手の反応などが分かりづらいので、普段以上にリアクションや相手の理解度を確認しながら交流することを意識させる必要がある。

提言

遠隔交流学習パッケージを活用して、多様な他者と交流し、児童が進んでコミュニケーション活動に取り組み、伝える喜びを実感できる授業づくりをしていきましょう。